



湖北



市長  
地域通  
訳案内  
士を受  
けた

長浜

英語で温かく観光ガイド  
通訳案内士に9人合格

長浜市は1月27日、外国人観光客に英語でガイドを行う「長浜市地域通訳案内士」の今年度の合格者9人を発表し、登録証を交付した。交付式には7人が参加した。同制度は今年度で2年目。

長浜市は1月27日、外国人観光客に英語でガイドを行う「長浜市地域通訳案内士」の西坊晴美さん(64)が「多賀町」が「長浜は特別だった」と思ってもらえるように、心に残る温かいおもてなしをした」と抱負を語った。

和リンゴシロップ、いかが  
甘みと旨味を長く楽しんで

長浜



地元産のリンゴを使った「酵素シロップ」へ長浜りんご

長浜市元浜町に店舗を構える「Wine & Cidre NAGAHAMA」が地元産の「小谷城和りんご」を使った「酵素シロップ」へ長浜りんごを開発し、今年から販売している。

「果汁は1年に一度しか取れないので、長い期間楽しめるようにシロップにしようと考えた」としている。200ミリ入り1200円。店頭や道の駅で販売中。

湖東

彦根

規格外ほうれん草でプリン  
おいしくフードロス防止

あいふあーむHIKIDA(彦根市三津屋町、疋田翔悟社長)は規格外野菜を活用した「ほうれん草プリン」を発売した。米や野菜を生産する同社は2021年度から立命館大食マネジメント学部の有志学生と連携。流通しない野菜を生まれ変わらせるプロジェクト「Reborn Vegetable(リボベジ)」を進めている。これまでに小松菜を使ったパンケーキミックスやクッキー、ほうれん草のジェノ

ベーゼソースを発売している。今回は地元専門店「彦根イブリン」をベースにほうれん草の苦みもなく、滑らかな食感に仕上げた。味の変化を楽しめる黒蜜も添付している。内容量65gで400円。彦根キヤッスルリゾート&スパ、スーパー「パリア」、名神高速多賀サービスエリアなどで販売。同市ふる



産学連携で誕生した「ほうれん草プリン」=彦根商工会議所ホームページより

さと納税の返礼品にも採用されている。

IT駆使して自ら学ぼう  
小中にアクティブ教室

彦根

彦根市立の一部小学校と全中学校で2022年度末、コンピュータ1教室が「アクティブラーニング教室」として再整備された。アクティブラーニングは教員が一方的に伝える学習ではなく、児童生徒が積極的・能動的に参加する授業。彦根市教委によると、教室の整備は県内公立小中学校で初めてという。



五角形デスクを導入した小学校のアクティブラーニング教室=彦根市

多様な組み合わせができる五角形デスクを取り入れた。高性能パソコンを各小学校に10台、各中学に40台導入。教育用ドローンや3Dプリンターも配備した。残り13小学校でも順次整備を進める。